

# 現代国語に関する意識調査

— 本校生徒の学力観について —

筑波大学附属駒場中・高等学校国語科

石川 祐爾 石田城之助  
塩谷 健 鈴木 信好  
塚田 泰彦 梶 繁  
松井 一夫

# 現代国語に関する意識調査

— 本校生徒の学力観について —

国語科

石川 祐爾 石田城之助  
塩谷 健 鈴木 信好  
塚田 泰彦 梶 繁  
松井 一夫

## — はじめに —

本校は、中学校・高等学校が併設されていて、6ヶ年一貫の教育がなされている。したがって私どもには中高一貫の指導体系が要求され、当然、その実践が求められている。

そこで、昭和51年度から55年度にかけて、古典学習についての意識調査を実施し、本校にふさわしい教材編成を考えた。

これにひきつづいて、56年度より、現代国語（中学校の国語の内の現代文、高校の現代文を中心としたもの）についても、中高一貫教育についての検討に入った。ここでは、指導体系・教材の編成・指導法の確立を目指すことになった。

まず56年度は、本校生徒全員に対して意識調査を実施し、それを集計した。そして、次年度の本調査づくりの参考とした。

57年度は、前年度の調査をふまえながら、本校生徒全員と、三校の協力校を得て、意識調査を実施した。この結果は、本校「研究報告・第21集」にまとめて掲載したが、結果の考察が十分ではなかったため、今回は本校生徒の学力観のみに限定して考察を試みた。

国語科がねらうさまざまな学力に対して、生徒がどのような意識を持っているか——という観点から、現代国語に限定した、本校生徒の実態についての考察である。

## — アンケートの内容 —

「現代国語に関する意識調査」は多方面にわたってその意識をしらべたものであるが、今回は、アンケート中の次の項目に限定して、考察の対象とした。

次の項目について、あ)～お)の設問にそって、答えて下さい。

- |                             |   |        |
|-----------------------------|---|--------|
| ① 評論・論説などを読みとる力             | } | 読解力    |
| ② 物語・小説・戯曲などを読む力            |   |        |
| ③ 随筆・随想などを読む力               |   |        |
| ④ 韻文(現代詩・短歌・俳句など)を読み味わう力    |   |        |
| ⑤ 想像力                       | } | 思考・表現力 |
| ⑥ 自分の考えをまとめて、文章にして書きあらわす力   |   |        |
| ⑦ 自分の考えをまとめて話す力             | } | 基礎力    |
| ⑧ 日常会話の力                    |   |        |
| ⑨ 漢字(読み・書き)の力               |   |        |
| ⑩ 語彙(知っていることばの数が多い)         | } | 基礎力    |
| ⑪ 語句の意味を正しく理解すること。          |   |        |
| ⑫ 文法(正しいことばの使い方)            | } | 基礎力    |
| ⑬ 表記(句読点・送りかななどの正しい書きあらわし方) |   |        |

あ) 上記の項目のうち、現代国語の力として重要と思うものを2つ選んで下さい。

い) あなたに備わっていると思うものを、2つ以内選んで下さい。

う) あなたに欠けていると思うものを、2つ以内選んで下さい。

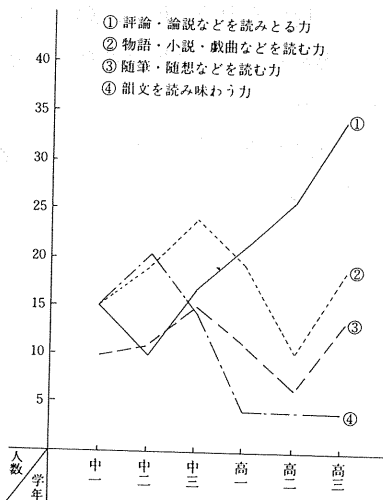
え) あなたが身につけたいと思うものを2つ選んで下さい。

お) 現代国語の授業をとおして身につくと思うものを2つ選んで下さい。

## 一 結果と考察

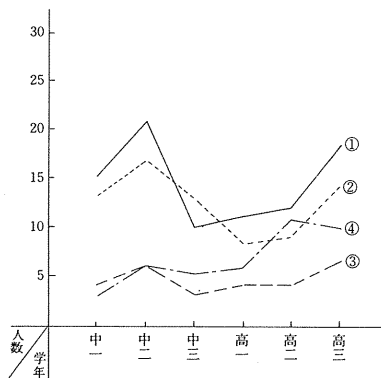
### 1 読解力(①～④)について

あ) 重要と思うもの



- ・「現代国語の力」というとまず「評論・論説」が浮かんでくるようだ。
- ・本校生徒の特徴の一つである自己主張の欲求の強さと、「評論・論説」が結びつくように思われる。
- ・「物語・小説・戯曲」と「随筆・随想」とはきわ立った関心がみられない。
- ・「韻文」は重視されていないが、男子校の特徴か。

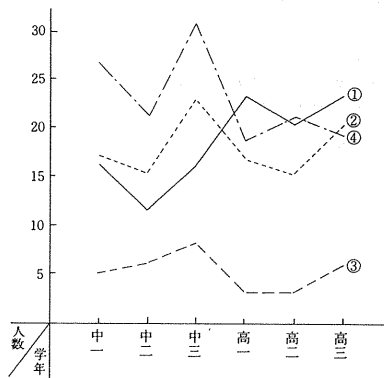
い) 備わっていると思うもの



グラフ 2

- 全体的に数値が低いのは、自分の学力を客観的に判定することがむずかしいためと思われる。
- 学年ごとの変化はほとんどみられない。
- 「物語・小説・戯曲」が、他に比較して数値が上なのは、個人的、自主的な興味関心によるものと思われる。

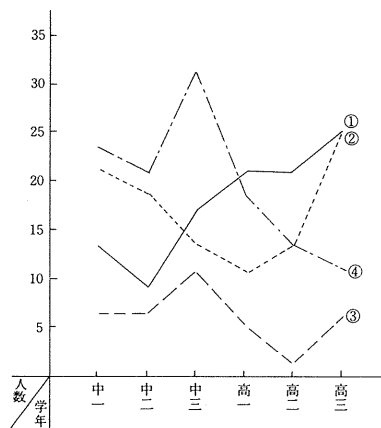
う) 欠けていると思うもの



グラフ 3

- 「韻文」の数値が高いのは、解釈・鑑賞を「むずかしい」と受けとめているからであろう。
- 「随筆・随想」の数値が低いのは、内容が身近でわかりやすく、日常の読書にもとり入れているからであろう。
- 高3で「評論・論説」が高くなるのは、内容のむずかしさについていけなくなるからであろう。

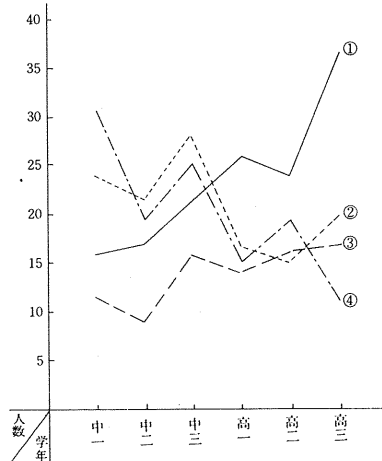
え) 身につけたいと思っているもの



グラフ 4

- 「評論・論説」が学年を追うごとに上がっているのは、発達段階によるものからであろう。
- 「韻文」が下がってきているのは、授業でも、積極的にとりくもうとしていないことのアラわれであろう。

お) 授業で身につくと思うもの

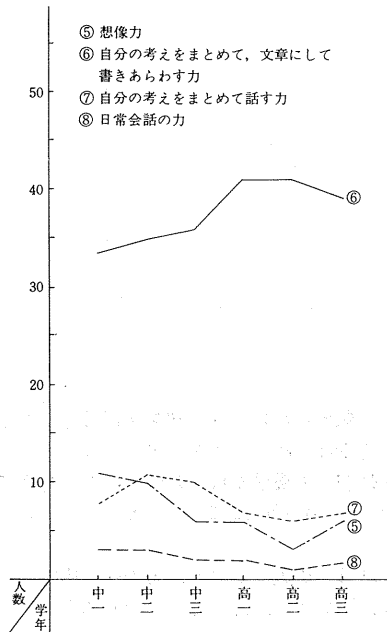


グラフ 5

- 「評論・論説」がのびてゆくのは、授業が、一応は健全な姿で進行しているといえるのだろう。また、内容と、生徒と知識欲との関連もあろう。
- 「韻文」がさがってゆくのは、難解さのためであろう。

## 2. 思考・表現力 (⑤~⑧) について

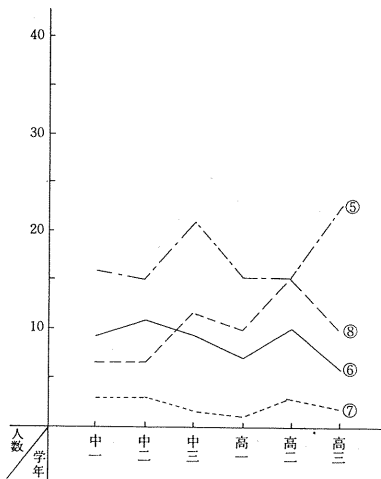
### あ) 重要と思うもの



グラフ 6

- ・「まとめて書きあらわす力」が学年が進むにつれて上昇してゆくのは、生徒の知的発達段階の欲求のためであろう。
- ・「想像力」と「話す力」は、下降気味である。
- ・「日常会話の力」は、ほとんど意識されていないといえる。

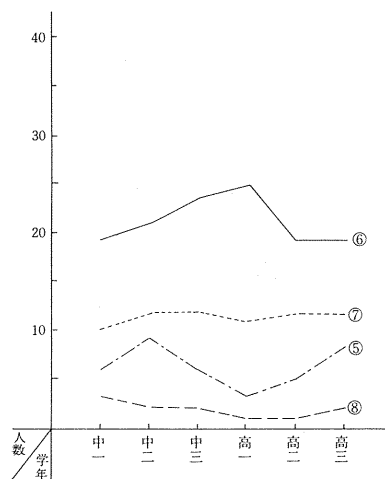
### い) 備わっていると思うもの



グラフ 7

- ・「想像力」がトップだが、想像力という言葉の意味を十分に理解しているかどうか疑問である。
- ・「まとめて話す力」は、あまり重要だとは考えていないが、備わっていない、と意識されている。

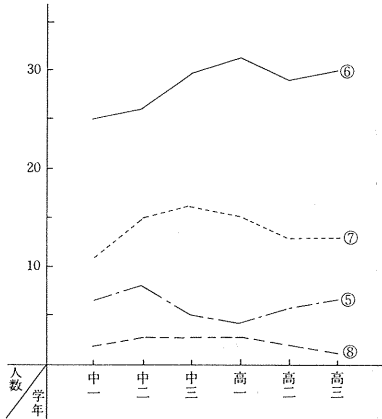
### う) 欠けていると思うもの



グラフ 8

- ・上記の「備わっていると思うもの」と対応している。
- ・どの学年も「まとめて書きあらわす力」・「まとめて話す力」・「想像力」・「日常会話の力」の順で低くなっている。

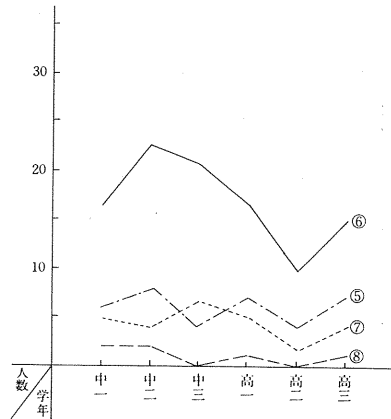
え) 身につけたいと思っているもの



グラフ 9

- ・上記う)の「欠けていると思うもの」とほとんど同じ。欠けているので、身につけたいと思っている、ということであろう。
- ・上記う)と同様に、学年進行にともなう変化がないことも特徴的。

お) 授業で身につくと思うもの



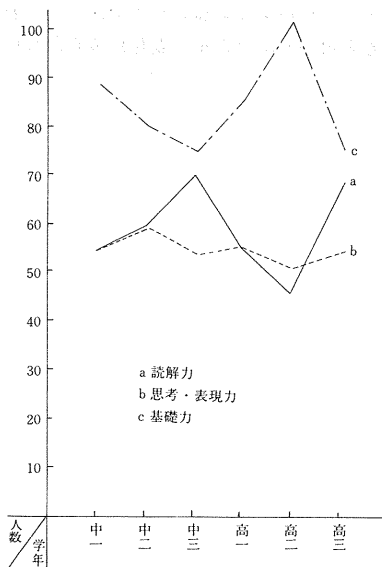
グラフ 10

- ・「まとめて書きあらわす力」が、中2から高2に向けて下がっているのは、教材の内容のむずかしさに追いついていられないと思っているからであろう。高3の場合は入試を意識して、授業に臨んでいることのあらわれであろう。
- ・ふだんの授業の進め方・力点の置き方が大きく反映されていると考えられる。

3. 読解力・思考表現力・基礎力について

調査項目(①~⑬)を3つの力にまとめてそれぞれの変化をみたもの

あ) 重要と思うもの

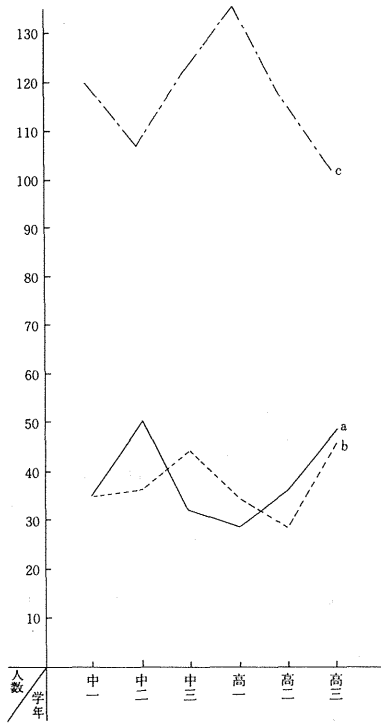


- ① } 読 解 力 a
- ④ }
- ⑤ } 思 考 ・ 表 現 力 b
- ⑧ }
- ⑨ } 基 礎 力 c
- ⑬ }

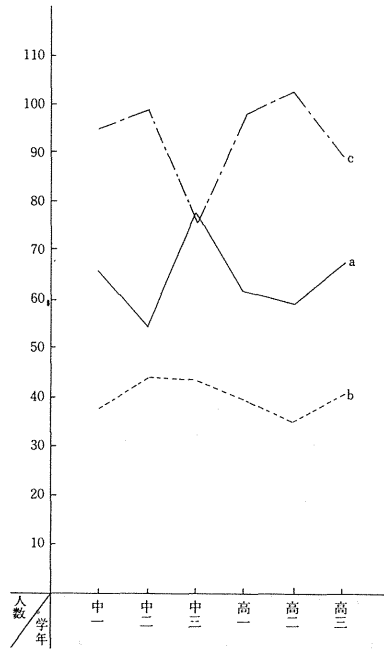
グラフ 11

- ・「基礎力」と「読解力」とが対照的なグラフになったが、これは、2つ選べ、という設問のため。つまり、上記2つの能力のうち、「基礎力」はどの生徒も選んでいる、と読める。
- ・中3と高3の傾向が顕著であるが、高3の場合は、入試をひかえて、「読解力」の重要性が意識されているものと考えられる。

い) 備わっていると思うもの



う) 欠けていると思うもの



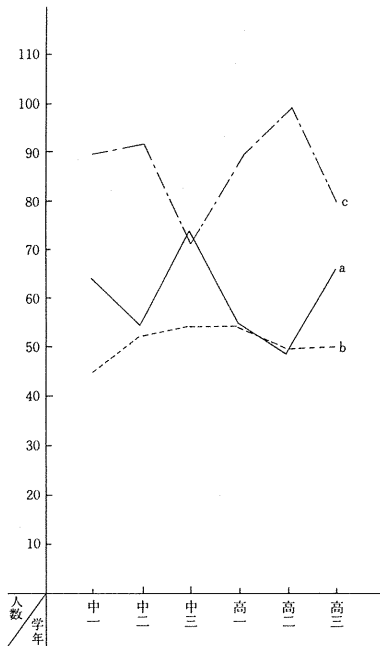
グラフ12

- 上記あ)と同様に、2つ選んだうちのひとつは「基礎力」である、といえる。
- 学力が進むにつれて、「基礎力」よりも「読解力」の不足を自覚してくる。

グラフ13

- 中3だけがきわ立っているが、担当教師が、「理解力の不足」を授業で強調したためかと思われる。
- 「思考表現力」はほとんど変化がみられない。

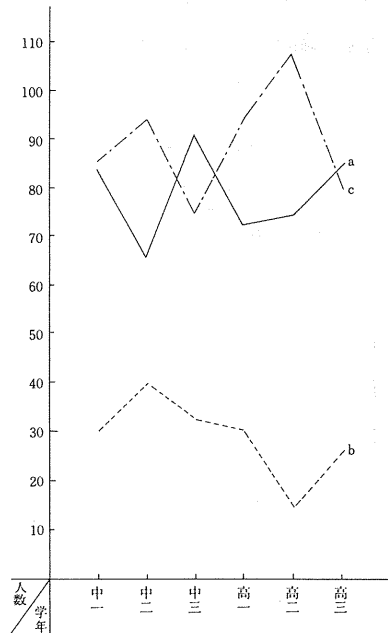
え) 身につけたいと思っているもの



グラフ14

・上記う)のグラフと同じで、「欠けていると思うので、身につけたいと思っている」ということであろう。

お) 授業で身につくと思うもの



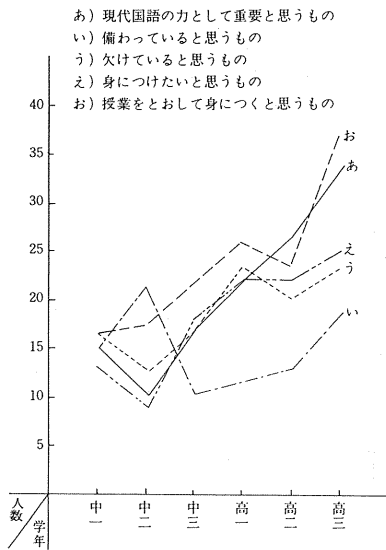
グラフ15

・「読解力」と「基礎力」とが、生徒の意識の中心を占めていることがわかる。  
 ・「思考表現力」は、授業で取り扱う時間数の少なさの反映であろう。また、授業中の態度（ノートのとおり方・まとめて発表することなど）に意識が向いていないことのあらわれでもであろう。



4. 各項目①～⑧・および基礎力について  
調査項目のそれぞれの力がどのように意識  
されているかをみたもの。

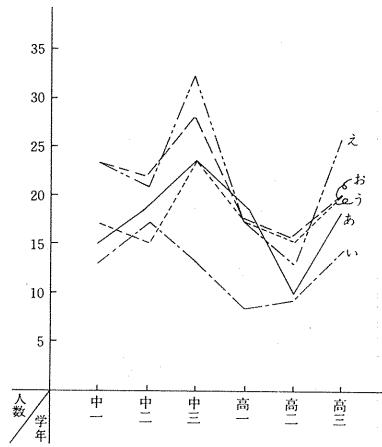
① 評論・論説などを読みとる力



グラフ16

・「欠けているので身につけたい」と思っている生徒が、学年が進むにつれて多くなっている。しかも、この力は授業で身につくと思っている生徒が多い。

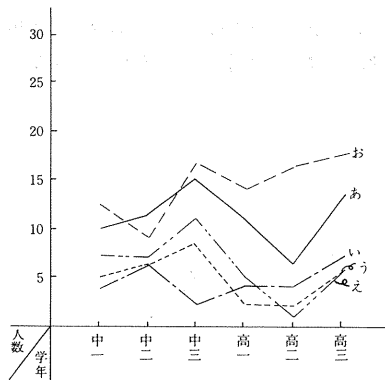
② 物語・小説・戯曲などを読みとる力



グラフ17

・全体的な意識の低さがみられる。

③ 随筆・随想などを読む力

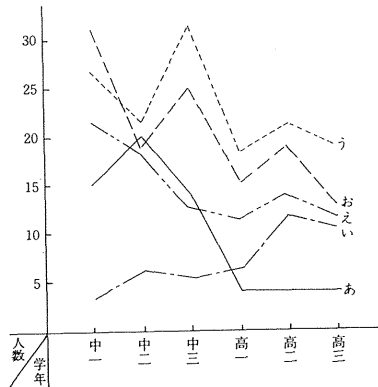


グラフ18

・②と同様に、全体的に意識が低い。  
・「授業で身につく」と思っている生徒が多い。

④ 韻文（現代詩・短歌・俳句など）を読

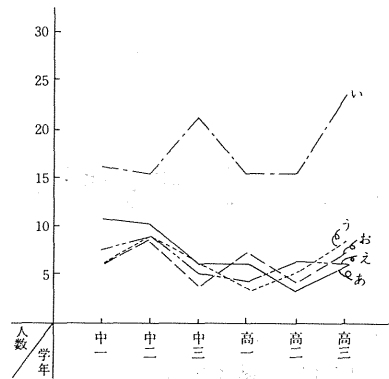
み味わう力



グラフ19

- 学年が進むにつれて、意識は低くなっている。
- 高1・2・3が「重要である」と思っていないのは問題であり、国語科としても不満である。
- 「欠けてはいるが、授業で身につけることができる」と思っている生徒が多いことは、これからの対策の糸口となろう。

⑤ 想像力

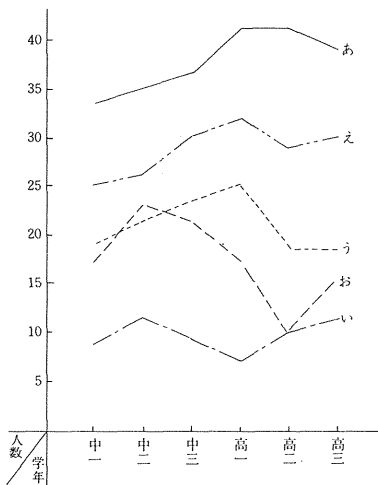


グラフ20

- 「備わっている」と思っている生徒が多いが、全体的にみると、ほとんど無関心。
- 「想像力」ということばの意味が正しくとらえられていないようだ。

⑥ 自分の考えをまとめて、文章にして書き

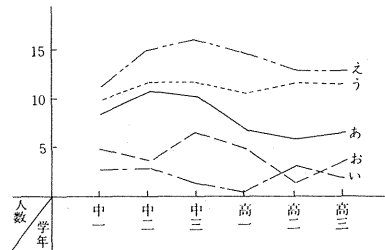
あらわす力



グラフ21

- ほとどの学年も「重要だと思うが備わっていないので身につけたいと思っはいるが、授業では身につかない」と思っている。

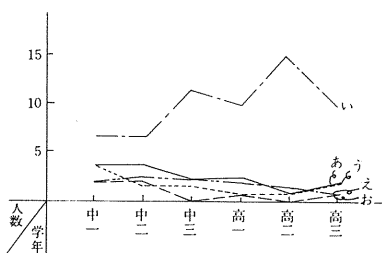
⑦ 自分の考えをまとめて話す力



グラフ22

- 全体的に意識が低い。
- 「欠けているので身につけたい」と思っている生徒が比較的多い。

⑧ 日常会話の力



グラフ23

- ・一応、不自由なく話せると思っている。
- ・国語の学力とは関係ないものと思っている生徒が多い。

⑨ 基礎力

